

郵便と鉄道

高校 K.K

はじめに

皆さんは、最近郵便局に行ったことはありますか。インターネットが普及した現在、郵便を利用することは減り、ここ数年間郵便局に行ったことがない、という方も多いのではないのでしょうか。鉄道研究部なのになぜ郵便の話、と思うかもしれませんが、日本全国にサービスを提供する者同士、郵便と鉄道には深い関係性があるのです。本記事では、郵便と鉄道の関係性や共通点を、余すところなくお伝えします。

1. 前島密
2. 鉄道による郵便輸送 郵便車と”鉄郵“
3. JR 東日本と日本郵便 郵便局できっぷが買える？
4. 風景印にみる鉄道

〈民営化について〉

・郵便事業を行う機関は、逓信(ていしん)省が 1885 年から 1949 年、その後は 2001 年まで郵政省、2 年間総務省郵政事業庁を挟み、2003 年から 2007 年まで特殊法人の日本郵政公社が担当。2007 年、日本郵政グループが発足し、日本郵政株式会社を軸として、郵便事業株式会社(集配業務)・郵便局株式会社(窓口業務)・株式会社ゆうちょ銀行(郵便貯金)・株式会社かんぽ生命保険(簡易保険)に分かれた。2012 年に郵便局株式会社が郵便事業株式会社を吸収し、日本郵便株式会社が発足した。ちなみに、オレンジ色の郵便局(JP Network)は郵便局株式会社の名残。現在は日本郵便の赤色(JP Post)に置き換えられている。

・鉄道は、開業時の機関は民部省鉄道掛で、その後何度か改組された。1893 年には逓信省の傘下になった。1908 年には鉄道院、1920 年に鉄道省となり、1949 年に日本国有鉄道が発足。1987 年に現在の JR グループ(北海道、東日本、東海、西日本、四国、九州、貨物、総研など)が発足した。

1. 前島密

郵便と鉄道の関係は、1973年の新橋～横浜間鉄道開業に遡ります。

日本の郵便事業の礎を築いたのは「郵便の父」とも言われている前島密(まえじまひそか)です。1円切手の肖像にもなっています。

1862年、長崎で英学とともにヨーロッパの郵便制度について学び、1871年に前島密の発案で東京～大阪間で郵便制度が始まりました。東京・京都・大阪には政府直轄の郵便役所、そして62か所には、地元の名士に無償で土地を提供してもらい、郵便業務を請け負わせる郵便取扱所(旧特定郵便局に似たもの)が設置されました。



この前島密は鉄道開業にも尽力しており、1870年に大隈重信から、鉄道の建設費と営業収支の見積りを作るよう命じられ、計画案「鉄道臆測」を作成しました。その後も、関西本線・紀勢本線・和歌山線・大阪環状線などを敷設した関西鉄道、信越線直江津～新潟間を敷設した北越鉄道の社長を務めるなどしています。

前島密は、郵便制度を確立した偉人として有名ですが、その一方で、鉄道建設にも尽力していました。

2. 鉄道による郵便輸送 郵便車と”鉄郵“

郵便と鉄道、と言われて真っ先に郵便車を連想した方も多いのではないのでしょうか。かつて日本では、鉄道を用いて郵便物の輸送を行っていました。この郵便輸送は、1873年の鉄道開業時から既に始まっています。郵便は配送の速さが求められるため、前島密は鉄道頭に鉄道による郵便輸送を申し入れ、まだ仮営業中だった1872年に輸送が始まりました。当時の列車9往復のうち5往復に郵便物を積み込み、郵便局員が乗務し護送便として使用されました。1887年には郵便専用スペースと3等客車(普通車)を合わせた郵便合造車が登場し、郵便取扱量も増えていきました。1889年に東海道線が全線開通したことで、関西まで鉄道を用いて郵便を輸送することができるようになり、配送時間は大幅に短縮されました。

1892年には、途中駅での取扱が増加し、鉄道網も広がりをもせていたため、「車中継送区分」というシステムが導入されました。これは、走行中の列車内で局員が沿線の局ごとに郵便物を仕分けするというもので、警備のためにただ乗車していた局員が仕分け作業を行うことで、大幅な効率化を実現しました。ちなみに、この年に郵便小包(ゆうパック)の取り扱いが始まりました。

私鉄でも郵便輸送が行われ、小田急小田原線、東武東上線・伊勢崎線、近江鉄道、島原鉄道でも郵便輸送が行われた歴史があります。郵便車が使用されたかは会社により異なります。

その後も鉄道による郵便取扱量は増加を続け、太平洋戦争中も、国内の鉄道網は壊滅的な被害を受けましたが、郵便輸送は継続されました。輸送量のピークは1972年で、この頃は主要な急行・特急・長距離普通列車には必ずと言っていいほど郵便車が連結されていました。しかし、郵便・荷物輸送は、1.旅客の繁忙期には客車の編成を長くしたいが、郵便・荷物車が支障となる 2.積み下ろしのため、停車時間を長く取る必要がある 3.旅客ホームに郵便物が往来することで安全確保ができないなどの理由、そして高速道路の開業やローカル線の廃止などにより、輸送量は減少していきま



郵便車の車内

た。まずは1984年に車中継送区分制度が廃止になり、郵便車を連結した列車も大幅に減少しました。そして1986年11月、「国鉄最後のダイヤ改正」で郵便輸送は荷物輸送ともども廃止となり、鉄道開業時から続いた郵便輸送はここで終止符が打たれました。現在でも、JR貨物のコンテナによりDMなどの大口郵便物が輸送されているようですが、ほとんどの郵便物はトラックや航空機により輸送されていて、鉄道による郵便輸送は終わったと言って問題ないでしょう。

『郵便車』

鉄道車両は、「モハ」や「キロ」のように用途・設備別にカタカナで区分されています。郵便車は頭文字を取って「ユ」と名付けられました。国鉄だけでなく郵政省保有車両もあります。郵便車は郵便物が飛ばされるのを防ぐため、窓がほとんど設置されておらず、設置されていたとしても開かない構造でした。また当時は非冷房が当たり前なので、局員は大変過酷な環境で乗務していたそうです。オユ10に冷房が設置された際も、理由が「作業員の発汗による郵便物の汚損対策」ということから、いかに過酷であったか分かります。郵便車の冷房化は客車よりも早い段階で進められました。



オユ 10(能登中島駅で保存)

クモユニ 81 国鉄 80 系「湘南電車」の郵便車・荷物車バージョン

ク…運転台つき モ…制御装置(モーター)つき ュ…郵便車 ニ…荷物車

キハユニ 26 国鉄キハ 20 系。客室も一緒になっている

キ…気動車 ハ…普通車 ュ…郵便車 ニ…荷物車

オユ 36 オハ 35 系列。郵便専用で、区分用の棚や差出口(ポスト)がある

オ…客車の重さの区分 ュ…郵便車

オユ 10 オユ 10-2565 はのと鉄道能登中島駅で保存されています。



『鉄郵』

鉄郵とは、鉄道郵便局のことです。鉄道郵便局は鉄道輸送に特化した郵便局で、郵便物の車両への積み込みや仕分けを行いました。車内に乗務する局員も鉄郵の所属です。1903年に最初の鉄道郵便局が置かれ、1910年に東京・神戸・熊本・仙台・大阪・札幌・長野・名古屋・広島・金沢の10ヶ所に置かれて本格的な運用が始まりました。その後、太平洋戦争直前には高松・米子・旭川に設置され、その他拠点駅にも分局が置かれました。1986年3月に日本海エリアが郵便輸送を含めて全廃、10月には全ての鉄道郵便局が廃止となりました。

クモユニ 81

3. JR 東日本と日本郵便 郵便局できっぷが買える？

「あざみ野駅内郵便局」など、駅に郵便局が併設されていることがありますが、いずれも乗車券の発売などの駅業務からは切り離されています。しかし、JR 東日本内房線の江見駅郵便局では、駅舎を兼ねた郵便局内に、POS 端末が設置されており、乗車券を局員が発売しています。きっぷが買える郵便局です。

JR 東日本と日本郵政、日本郵便は、2018年6月12日に「日本郵便とJR東日本の地域・社会の活性化に関する協定」を、2024年2月21日に「社会課題の解決に向けた連携強化に関する協定」を締結しました。江見駅郵便局はこの協定を基に設置されました。

「日本郵便とJR東日本の地域・社会の活性化に関する協定」

1. 郵便局と駅の機能連携

→都市部では駅ビルに郵便局の施設を、地方では駅敷地内に郵便局を設置するなど、両社の設備を活用して、機能の集約化などを実施するということです。

2. 両社が有するネットワーク等を活用した物流

→新幹線など鉄道網を活用し、郵便物や特産品の輸送を行うということです。現在 JR 東日本の鉄道を利用した郵便輸送は行われていませんが、いずれは郵便車が復活するのではないかとも言われています。

3. 観光振興等の地域活性化施策

→地域に根付く両社が協業して地域活性化をめざすということです。郵便局では「ふるさと小包」など、特産品のカタログ販売をしており、特産品を新幹線で輸送、駅で販売という形態も考えられます。

4. その他、地域・社会の活性化に資すること

この協定をさらにグレードアップしたのが 2024 年の協定です。

「社会課題の解決に向けた連携強化に関する協定」

1. 郵便局・駅の地域コミュニティ拠点化

→郵便局や駅の地域での拠点性を高め、コミュニティの中心として機能することを目指します。郵便物で駅業務を行うなど、2018 年の協定の1に類似しています。

2. 持続可能な物流の実現

→両社の物流ネットワークを連携し、物流の 2024 年問題の解決に寄与することです。早速、2024 年度中に駅の多機能コインロッカーにゆうパックの受け取り機能が追加されます。また、「鉄道車両と郵便車両を組み合わせる」という記述があり、鉄道による貨客混載での郵便輸送も現実味を帯びてきています。

3. アセット連携による共創型まちづくり

→アセットとは、資産や財産のことです。両社の設備を活用して、都市の魅力を高めるまちづくりを行うということです。

4. 地域産業振興と新たな地域事業創造

→JPタワー(東京中央郵便局)の「KITTE 丸の内」や駅ビルなどで特産品の販売を行うとのこと。

5. デジタル化による地域の暮らし支援

→駅でのオンライン診療サービスの拡大、それに伴う処方薬の集荷・配送などの分野で協力します。また、ゆうちょ銀行とモバイル Suica の連携なども予定されています。

鉄道会社と郵便局のように、地域に根差してきた企業が協力し合うことで、地域の機能の効率化を図ることができます。例えば只見線の会津川口駅は観光協会の売店、JA(農協)、郵便局が入居していますが、いずれも結び付きはありません。郵便局や農協が売店を運営したり、郵便局がきっぷを販売するなどすれば、地方でもサービスを効率的に維持することが可能です。2024年4月1日からは金山町直営できっぷ販売を行うということで、サービス維持のため、このような動きが広まっていくことに期待したいです。

物流についても、トラックドライバーが不足しているなか、新幹線を利用して高速で郵便物を輸送することは、効率化になります。新幹線も在来線も、旅客スペースを使用するため、繁忙期には対応できない、積み下ろしに時間がかかるなど、課題も多いですが、鉄道による郵便輸送の復活には期待が膨らみます。

また、しなの鉄道でも大屋駅の駅舎を郵便局に改装し、郵便局が駅業務を始めました。普通乗車券は発売しませんが、フリーパスの販売などを行うとのこと。

この施策はJR東日本に限らず、人員を削減したい、しかしサービスを低下させたくないという鉄道会社では広がりを見せていくことが予想されます。利用者側から見ても、日常的に使う駅できっぷ・定期券の購入や、切手・印紙の購入、荷物の発送、口座からの出入金ができるれば非常に便利です。



江見駅郵便局の「JR 窓口」

〈現在駅業務を行う郵便局〉

- ・江見駅郵便局(内房線) この類の郵便局第一号。乗車券の販売を行っています。
- ・作並簡易郵便局(仙山線) 企業に運営を委託しています。乗車券の発売を行っています。
- ・大屋駅郵便局(しなの鉄道) 第三セクター初の駅業務を行う郵便局。乗車券の発売は行いませんが、特別企画乗車券(フリーパス等)の発売を行います。

〈今後開設する駅業務を行う郵便局〉

・安房勝山駅郵便局(内房線) 乗車券の発売は行わず、Suica チャージなどのみ提供することです。

・鶴原駅郵便局(外房線) 安房勝山駅局と同様。

・蒲須坂駅郵便局(宇都宮線) 安房勝山駅局と同様。

4. 風景印にみる鉄道

郵便物を送ると切手・料額印面に消印が押されますが、「風景印」という、地元の特産品や名物、景勝地などを図柄に盛り込んだ消印が設置されている郵便局があります。

例えば青葉局(横浜市青葉区)は東名高速の横浜青葉 IC、登戸局(川崎市多摩区)は生田緑地、宮島局(広島県)は厳島神社が描かれています。



とりわけ鉄道は地域を表すものとしてふさわしいのか、非常に多くの郵便局が採用しています。また、図柄変更はめったに行われないため、既に営業運転を終了した車両が描かれていることもあります。

加えて、地域のイベントや記念日に合わせて期間限定で使用される消印「小型印」の記念事項にも、新線開業や観光列車の運転など、鉄道に関する事柄が多くあります。

ここでは、筆者が蒐集した鉄道が描かれた風景印・小型印の一部をご紹介します。最後に、風景印の蒐集方法についても載せました。

1. たまプラーザ駅南口局(神奈川・横浜市)

既に田園都市線からは引退した東急 8500 系が小さいながら描かれています。

ちなみに、「駅南口」という名前ですが、駅からは 500m離れています。



2. 山形五日町局(山形・山形市)

E8 系導入により引退予定である E3 系が描かれています。

【2】



3. 東田端局(東京・北区)

EF65 牽引の客車列車が描かれています。

【3】



4. 大屋駅局(長野・上田市)

しなの鉄道の観光列車「ろくもん」が描かれています。

【5】



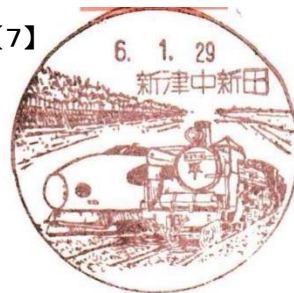
【4】



5. まつやま坊っちゃん局(愛媛・松山市)

伊予鉄道の機関車(坊っちゃん列車)が描かれています。

【7】



【6】



6. 秋田明田局(秋田・秋田市)

秋田駅と秋田新幹線 E6 系が描かれています。

7. 新津中新田局(新潟・新潟市)

蒸気機関車と新幹線が描かれています。

【8】



8. イオンモール高岡内局(富山・高岡市)

イオンモールを背景に、北陸新幹線 E7 系が描かれています。

【9】



9. 児島局(岡山・倉敷市)

瀬戸大橋線と瀬戸中央道が通る瀬戸大橋が描かれています。

【10】



10. 五和局(静岡・島田市)

大井川鐵道の SL と東名高速島田金谷 IC が描かれています。

【11】



11. 下灘局(愛媛・伊予市)

海に近い駅として有名な下灘駅が描かれています。

12. 山形局(鳥取・智頭町)

恋山形駅の駅名標、智頭急行の車両が描かれています。

【12】



13. 川崎生田局(神奈川・川崎市)

生田緑地で静態保存されている D51 が描かれています。

【13】



14. 白糠局(北海道・白糠町) 小型印「白糠線廃止 40 年」

1983 年、国鉄のローカル線廃止第一号となった白糠線。その最終列車が描かれています。



15. 北進簡易局(北海道・白糠町) 小型印「白糠線廃止 40 年」

白糠線にあった北進駅の駅名標が描かれています。

【14】

【15】



16. 大屋駅局(長野・上田市) 小型印「大屋駅郵便局開局」

大屋駅郵便局の開局を記念した小型印です。

【16】



17. 福井中央局(福井・福井市) 小型印「第 39 回 ふくい桜まつり」

中央に W7 系が描かれています。

18. 金沢中央局、小松局、加賀局、芦原局、福井中央局、武生局、敦賀局(石川、福井)

小型印「北陸新幹線 金沢～敦賀間開業」

W7 系と、左側には各自治体の「市の花」が描かれています。

【17】



・風景印の蒐集方法

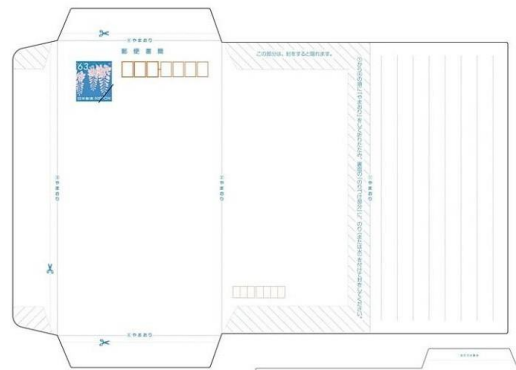
風景印の情報は、郵便局の HP で検索することができます。しかし、郵便局の HP では 2004 年以降の廃止・新設情報のみ掲載されているため、それ以前に設置されたものは掲載されていません。そのため、古い風景印は、個人のブログ等を用いて調べる必要があります。

風景印の蒐集方法は、台紙などに押しってもらう「記念押印」、押印の上宛先に送ってもらう（実際に消印として使う）「引受押印」があります。基本的に、風景印を蒐集する場合は「記念押印」を用います。引受押印では、折れ・欠け・汚れなどが発生する可能性があるためです。

記念押印の場合は、郵便物の最低金額（2024 年 3 月現在 63 円）の切手を貼りつけた台紙・はがきを用意します。あくまでスタンプではなく消印なので、切手なしでは押印してもらえません。

直接郵便局に出向き押印する場合は、郵便窓口在台紙などを持ち込み、「風景印をお願いします」と、押印してほしい位置とともに伝えます。なお、消印のため自分で押印することはできません。ゆうゆう窓口でも押印してくれます。

風景印を取り扱っている郵便局が遠方の場合には、「郵頼」という方法があります。筆者はほとんどこの方法で蒐集しています。郵頼は、封筒に押印してほしい台紙と押印位置、連絡先を記入した依頼状を入れ、返信用封筒とともに郵便局に送る方法です。押印後、返信用封筒に入れられ自宅に送られてきます。往復の料金を負担する必要がありますが、訪問する交通費より安く済む場合がほとんどです。この際、封筒は「郵便書簡」をおすすめします。罫線が印刷された紙を封筒状に折って送る郵便物で、紙片を同封できます。料金は 63 円（2024 年 3 月現在）なので、封筒で送る場合（2024 年 3 月現在 84 円）よりも 21 円、往復で 42 円安く済みます。



郵便書簡 (ミニレター)

おわりに

いかがでしたか。皆様に郵便と鉄道の関係性、郵便の魅力が伝われば嬉しいです。郵便事業は 2022 年度に民営化後初めての赤字を計上しました。この先もインターネットの普及により、経営は厳しい状況が予想されています。郵便には風景印の蒐集や、郵便局の貯金窓口で口

座に入金し、通帳にゴム印を押してもら「旅行貯金」など、様々な楽しみ方があります。友人との手紙のやりとりも、風景印を押印して相手に送れば、きっと喜ばれるはずです。郵便局と鉄道会社という、地域社会に欠かせない存在を、若い世代から盛り上げていけたらと思います。まずはぜひ一度、近くの郵便局に立ち寄ってみてください。

ここまでお読みいただき、ありがとうございました。

参考文献

鉄道郵便車保存会「鉄道郵便輸送の歴史」

<http://oyu10.web.fc2.com/tetsuyuu-rekishi.html>

富永紀子(2019)「郵便における鉄道利用について」 郵政博物館

https://www.postalmuseum.jp/publication/research/research_10_14.pdf

日本郵政「前島密」

<https://www.japanpost.jp/corporate/milestone/founder/>

日本郵政(2024)「日本郵政グループと JR 東日本グループとの『社会課題の解決に向けた連携強化』に関する協定締結について」

https://www.japanpost.jp/pressrelease/jpn/2024/02/20240221_01.pdf

日本郵便(2018) 「日本郵便とJR東日本の地域・社会の活性化に関する協定の締結」

https://www.post.japanpost.jp/notification/pressrelease/2018/00_honsha/0612_01_01.pdf

JP CAST(2023)「街とつながるJP 百景 Vol.6 鉄道×郵便！ 郵便局と駅の融合で目指す地域活性」

<https://www.jpcast.japanpost.jp/2023/04/345.html>